



## 気づいた時にはもう遅い!?網膜症について



みなさん、糖尿病が原因で**失明**することがあることをご存じでしょうか？

「糖尿病網膜症」は糖尿病三大合併症の一つで、我が国では成人の失明原因の上位に位置します。

初期には自覚症状はほとんどなく、**気づかない間に進行**し、症状が出てくる頃には、レーザー治療や手術が必要になっていくことも稀ではありません。

ですので、糖尿病と診断されたら、**定期的な眼科受診**をしましょう。

「忙しくていけない」  
「知らなかった」  
と言われる方がいます。

**少なくとも  
年1回は眼科へ!**



### 網膜症

### Q&A

#### Q. 最近、糖尿病と診断されました。眼科受診は必要ですか？

→はい。糖尿病と診断されたら、すぐに眼科も受診してください。  
すべての糖尿病患者さんに必要です。

#### Q. 健診の眼底カメラで異常なかったのに、眼科受診はしなくてよいですか？

→いいえ。眼底カメラだけでは不十分ですので、眼科専門医により精密検査をうけてください。

特に、初期段階では眼科医でないと診断が難しい場合があります。糖尿病患者さんは、網膜症以外にも、白内障や緑内障にかかりやすいと言われています。眼科での精密眼底検査と診断を受けることで、視力を保つことができます。

#### Q. 網膜症は治りますか？

→進行すると、完全に直すことはできません。治療はこれ以上悪化しないことを目的に行われます。

治療は、それぞれに有効な時期がある程度決まっているので、定期的な眼科受診で早期発見、その段階に合った治療を受けることで、網膜症の進行・失明の予防を期待できます。

定期的に内科・眼科を受診されている方であれば、必要以上に網膜症を恐れる必要もありません。

#### Q. 失明を防ぐためにできることを教えてください。

→定期的な眼科受診（早期発見!早期治療!）

血糖値と血圧を良好に保つ（コントロールが悪いほど、網膜症は進みやすいです）

#### Q. はじめて眼科を受診します。持ち物など、教えてください。

→**持ち物**

・糖尿病連携手帳（クリニックでお渡しできます。お持ちでない方はお声がけください。眼科にて記載してもらうことで、ご本人・主治医が目の状況を把握するために非常に有効です）

・内科での検査結果やお薬手帳

※**糖尿病があることを伝えて**網膜を見てもらってください。

※しっかり調べるために瞳孔を開く目薬を使うことも多いです。瞳孔が開いたままになって見えにくくなるので、検査の当日は帰りの移動手段を考えておいてください。オプトス（超広角走査型レーザー検眼鏡）がある眼科では、無散瞳（散瞳する点眼薬が不要）で検査が可能。お車での受診を希望される方は、事前に眼科に問い合わせをされるといいかもしれません。

※**次回受診日**を眼科医に確認しましょう。

網膜症について、詳しくはクリニック通信 vol.23 をご覧ください。

文責 看護師 長谷川 糖尿病専門医 高部